

2026年度「海と灯台利活用チャレンジ事業」募集説明動画

○アジェンダ

- ①「海と灯台プロジェクト」の紹介
- ②「海と灯台利活用チャレンジ事業」とは
- ③募集要項の説明
- ④応募資料について
- ⑤その他



海と灯台プロジェクトとは

灯台は、船舶交通の安全を支えるインフラ施設であるばかりでなく、
日本の近代史を知るうえでの重要な文化資産です。

いくつかの灯台が国の重要文化財に指定されるなど、灯台への関心が高まっていますが、
海外に比べ、灯台を利活用する需要が高まっているとは言えません。



**灯台を中心に地域の海の記憶を掘り起こし、
地域と地域、異分野と異業種、
日本と世界をつなぎ、
新たな海洋体験を創造していくプロジェクト**です。



「海と灯台プロジェクト」の目的・趣旨

1. 航路標識としての役割が変化した灯台の存在意義や継承理由を正しく伝える
2. 灯台が果たしてきた地域固有の役割や機能、存在価値を物語化する
3. 灯台が持つ多様な価値と利活用の可能性について、戦略的に取り組む

→灯台を訪れる人を増やし、海や周辺地域への興味関心を高める

海と灯台利活用チャレンジ事業とは

「海と灯台利活用チャレンジ事業」は、全国各地の灯台を活用するイベント企画を募集し、灯台利活用の可能性を広げる公募事業です。灯台を訪れる人を増やし、海や周辺地域への興味関心を高めることを目的としています。

【募集する事業】

以下①②に合致するイベント

- ①対象灯台を1基以上設定し、その灯台ならではの役割や存在意義、歴史、魅力等について情報収集した上で、企画されたイベントであること。
また、参加者に灯台にまつわる学びや体験を提供するとともに、広く世の中に発信するイベントであること。

※注：灯台および周辺を単に会場として使うだけのイベントは対象外

- ②参加者を、関係者外から広く募るイベントであること。

※関係者によるイベント試行、勉強会等は対象外



事例①

御前埼灯台150周年記念 風と灯台フェスティバル



御前埼灯台の初点灯150周年を記念したイベント。

当日は約500名が来場し、灯台の参観をはじめ、イベントのシンボルとして「風」を可視化する風車づくりの体験や、メッセージパネルコーナーなど、灯台の歴史と地域の魅力を体感できる催しが行われました。



詳細は [こちら](#)

事例② 坊ノ岬灯台ウォーク



坊ノ岬灯台および周辺エリアの
観光価値増大を目的に、
ハイキングイベント
「坊ノ岬灯台ウォーク」を開催し、
全国から34名が参加。

参加者は、道中や灯台バルコニー
からの海の絶景を堪能。
また、講師から地域の歴史・地質・植
物などについて学ぶとともに、
灯台守やこの地を訪れた人々の物語
にふれるなど、盛りだくさんの
ハイキングを楽しみました。

詳細は [こちら](#)

事例③

演劇「わたしの人生の物語、つづく。」塩屋埼灯台編



灯台を守り継いできた人たちの物語や思いを演劇に昇華し、発信することで、後世に残すことを目的として企画されました。

演劇の上演にあたり、塩屋埼灯台にまつわる市民へのインタビューを実施し、それをもとにオリジナル台本の作成や演劇講座を実施しました。

詳細は [こちら](#)

今までにない新しい灯台利活用のアイデアもお待ちしています。

募集要項:スケジュール

<スケジュール>

応募〆切	2026年6月30日(火) 17:00まで ※1
採択結果の通知・契約手続き	2026年7月末
事業実施期間	2026年8月～2027年2月14日(日) ※2
助成金の支払い	2026年9月
事業完了の書類等提出	イベント終了後 1ヵ月以内 ※3

- ※1 必要書類を添付の上、
海と灯台プロジェクト事務局(toudai@umi-nippon.com)宛に
メールで送付ください
- ※2 審査の状況等により、開始日は前後します
- ※3 事業期間中および事業完了時の書類・提出物の詳細については、
募集要項をご確認ください。

募集要項：助成金・応募資格

<助成金>

1事業あたり110万円以内(税込)

※助成金の振込先の口座は、コンソーシアム名義ではなく、幹事社名義の口座でも構いません。

<応募資格>

以下のいずれかに該当する2つ以上の構成団体からなるコンソーシアムであること。

- ・法人格を持つ企業または団体
- ・地方自治体
- ・観光協会
- ・地域活性化事業等の実績を持つ任意団体

<コンソーシアムの結成を求める理由>

1つの団体からの知見だけでなく、異業種・異分野を巻き込み、多種多様な視点を踏まえて、灯台の利活用の可能性を最大化するため。

※コンソーシアムへの参画有無に関わらず、事前に、対象の灯台がある自治体・海上保安部との調整は済ませてください。

△△△コンソーシアム

<構成員>

- ・株式会社A
- ・C観光協会
- ・D市
- ・チームE

応募に必要な書類

<提出物>

- (1) 事業計画書 ([→フォーマット①](#))
- (2) 事業費内訳(上記フォーマット①内のシート「事業費内訳」)
- (3) 事業概要書 ([→フォーマット②](#))
- (4) コンソーシアム協定書のコピー
(原則、指定フォーマット使用。構成団体全ての押印が必要。[→フォーマット③](#)
指定フォーマットに変更が必要な場合には事前にご相談ください)
- (5) 任意提出: 申請内容補助資料
(フォーマット自由。実施内容・体制の補足情報等)

応募に必要な書類:事業計画書

◎事業内容

- (1) イベント名
- (2) 開催目的
- (3) 対象灯台の名前、所在地
- (4) 対象灯台について
- (5) イベント内容
- (6) 集客目標数
- (7) ターゲットと、集客・広報の手法
- (8) 開催場所の名称・所在地
- (9) 開催場所の使用に関する許諾について
- (10) 屋外イベントの場合、荒天時の対応について

◎実施スケジュール

◎事業の効果・将来性

◎コンソーシアムまたは構成団体の イベント、補助金・助成金の実績

※イベント内容は、「5W1H」を用いて、具体的にご記入ください。

また、対象灯台にまつわる学びや体験を提供する内容であることを、
分かりやすく記載してください

応募に必要な書類: 事業費内訳

・青色セルのみに入力をお願いします。
(灰色セルには計算式が入っています。計算式は崩れないようにしてください。)

・「科目」については、募集要項内、「10. 対象となる経費」から選択してください。
また、「11. 対象とならない経費」も併せてご確認ください。

・事業費内訳のページ下部に「記入例」を用意しています。
こちらを参考にしてください。

(事業費内訳 記入例)		
科目	金額 (円)	具体的な内容や単価、数 (記入必須)
会場費	110,000	灯台に隣接するホテルの会場使用料
諸謝金	165,000	灯台ガイドを依頼するジオガイドへの謝金 (事前打合せ、資料作成費含む)
委託費	308,000	・会場運営スタッフ人件費 (15,000円×のべ11人日) ・記録撮影用カメラマン人件費 (55,000円×1人) ・イベントで配布するノベルティの作成費 (キーホルダー、88,000円)
印刷製本費	132,000	・資料 (22,000) ・ポスター (110,000円)
旅費交通費	11,000	スタッフの高速道路代、駐車場代等
計	726,000	

10. 対象となる経費

対象となる経費は、海と灯台利活用チャレンジ事業の実施に必要な経費とする。

科目 (例)	内容
委託費	企画運営、調査研究など事業の一部を他に委託する費用
旅費交通費	事業を実施するために必要な出張旅費や交通費など
消耗什器備品費	事業に直接必要な機材や備品等の購入費
印刷製本費	ポスター・パンフレット等のコピー・印刷など
通信運搬費	郵送料、宅配便代など
会議費	会場借用料、会場設営費用など
諸謝金	外部の専門家に対する謝金
広告宣伝費	情報発信や事業告知等についてチラシ、ポスター、ウェブ等の制作・構築・発信に係る費用 ※原則的に媒体購入 (新聞・テレビ等の広告枠の購入) には用いない。
事業管理費	事業を実施する上で必要な事務局人件費・諸経費
雑費	少額かつ上記経費項目に含めることができない諸経費

11. 対象とならない経費

科目 (例)	内容
旅費交通費	・役員費や講師が出張する際のファーストクラスやグリーン車等に相当する上位グレード/クラスの席の利用
会議費	・会議費の範囲を逸脱し、社会通念上、接待交際費に当たるもの
寄付金・賛助会費	・助成金で支払った経費を寄付金や賛助会費として受け入れる場合 ・賛助会費や寄付金が、入札もしくは見積参加条件になっている場合
税金関連	・固定資産税、法人税など
建築関連	・土地の取得・造成に要する経費 ・旧家庭撤去費、外構植栽工事などの付帯的工事費
車両関連	・税金、保険料などの購入に係る諸費用 ・車両、改造、搭載機器以外の諸費用
その他	・事業期間外の業者との契約に係る支出 ・自法人の役員員に対して支払う謝金 ・土地などの不動産購入費用や賃貸に係る敷金 ・発生していない経費 (予算計上しただけの経費や内部振替のみで支出が確認出来ない経費等) ・事業の実施に直接関係のない経費

応募に必要な書類: 事業概要書

開催目的やイベント概要を
端的にまとめて記載してください

◎開催目的

◎イベント概要

◎本事業の効果・将来性

◎参考画像 等

2026年度「海と灯台活用チャレンジ事業」事業概要書

<p>【事業名】 北斗灯台台地活用プロジェクト</p>	<p>【コンソーシアム名】 北斗灯台台地活用実行委員会</p>	<p>【コンソーシアム構成団体】 株式会社XXXXXX、株式会社〇〇〇〇、 有限会社〇〇〇〇、XX市</p>
<p>【イベント名】 北斗灯台で過ごす休日</p>		<p>【対象灯台名】 北斗灯台（北海道XX市）</p>
<p>【開催目的】（100文字以内） 北斗灯台が立地する〇〇エリアの地域活性化。航路標識として重要な役割を担い、歴史的価値の高い灯台を生かしたイベントの開催によって、地域住民の郷土愛を高め、新たな賑わいを創出します。</p>		<p>【画像】（参考画像、イメージ画像等） ▼開催場所（北斗灯台、手前が隣接する市有地）</p> 
<p>【イベント概要】（開催予定日時、場所、ターゲット、イベント内容、集客目標、イベントのPRポイントなど）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆開催予定日時：2026年10月4日（日）12:00～19:30 ◆場所：北斗灯台および隣接する市有地 ◆ターゲット：北斗灯台が立地する〇〇エリアの住民（子ども連れファミリー、学生、一般市民） ◆イベント内容： <ul style="list-style-type: none"> ①灯台の一般公開...普段は入れない灯台内部を公開 ②ステージイベント...灯台下に特設ステージ&観客席を設置。地元への海にまつわる郷土芸能や、小中学生の吹奏楽やダンスの発表、灯台について楽しく学べるクイズ大会などを開催 ③マルシェ...地元の特産物を使ったフードや、灯台コラボスイーツ、物産などを販売 ④北斗灯台ガイドツアー：ガイドの案内で灯台および灯台周辺を歩く。13時～、15時～の2回開催予定。 ⑤体験プログラム「『とうだい』と『ほし』のひみつをさがそう」：灯台と星を鑑賞し、その共通点を学ぶ子ども向けプログラム。18時～1回開催予定（日没は17時すぎ）。 ※①～③は自由参加、④⑤は事前申込制。雨天順延。 ◆集客目標：500名 ◆イベントのPRポイント： <ul style="list-style-type: none"> ・これまで北斗灯台を活用したイベントはなく、今回が初開催となります ・自治体（XX市）、商工会、地域おこし協力隊、星愛好家団体、海保が力を合わせて企画、運営します 		<p>▼開催イメージ（ステージ、マルシェ）</p> 
<p>【本事業の効果・将来性】（本事業が社会や地域等に与える効果。事業効果を今後どのように生かす予定か）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元住民が北斗灯台の価値や魅力を認知し、地域の新たな可能性を見いだすことができる。 ・実行委員会構成団体は、本事業を通じ、これまでにない連携と知見を得られ、課題の洗い出しができる。それらをもまえ、自治体为主导し、次年度以降もイベントまたは体験プログラム等を実施する予定である。 		

記入例

※「事業計画書」との整合性を確認の上、作成ください。

参考情報：海と灯台ウィーク

11月1日の「灯台記念日」から11月8日は「海と灯台ウィーク」

海上保安庁や「海と灯台のまち」参画自治体(60市町村)と連携し、
全国の人々に「灯台にいこう!」と呼びかけるキャンペーン。

→2025年度特設サイト



※イベントの開催日程は、事業実施期間中であればいつでも設定可能です。
ウィーク期間でのイベント実施を必須とするものではありません。

お問い合わせ先

ご不明な点がございましたら、お気軽にご連絡ください。

海と灯台プロジェクト事務局
(一般社団法人 海洋文化創造フォーラム 内)

toudai@umi-nippon.com